

# はなかご

## 【解説】

今藤政太郎作曲。詞章は「閑吟集」より。箏の弾き唄い。

二〇一四年六月二六日「現代邦楽の夕べⅠ」（於東京藝術大学音楽学部第6ホール）のライブ録音。萩岡未貴氏の少し邦楽風を残した唄は、シンプルな旋律と相まって、この歌謡が同時代的にうたわれた時代に、若い女性が箏をかき鳴らし口ずさむ姿を、どこか髣髴とさせる。

「室町後期の歌謡集である「閑吟集」を眺めると、世の中を斜に見たような、ちよつと皮肉な、あるいは無常観を漂わせたような歌が目につきますが、この「はなかご」には、何か初々しさがあります。60歳を過ぎて作った曲ですが、“おぼこい”恋の歌です。」（今藤政太郎）